

平成22年2月1日

名古屋産業大学

専任教員・非常勤講師 各位

教育支援センター

センター長 伊豆原 浩二

「学生による授業評価アンケート」の集計結果について

平成13年度後期から始めました授業改善のための「学生による授業評価アンケート」は、今年度で9年目を迎えました。これまでのアンケートの結果をみますと、着実に成果が上がってきております。これもひとえに皆様のご協力によるものと感謝しております。

さて、本年の後期セメスターにおきましても12月第3週に皆様のご協力で、「学生による授業評価アンケート」を実施させていただきましたが、結果がまとまりましたので、別紙の通り報告いたします。

今回の結果を前年同期（平成20年度後期）と比較しますと、B項目では12項目中9項目で0.1ポイント評価が上昇し、3項目では同じ結果となっております。評価が上昇した項目中B(1)「先生の話し方（言葉・声の調子など）は適切でしたか」、B(4)「時間配分など、授業の進め方は適切でしたか」、B(6)「先生は、授業中の私語に対して適切な処置をとりましたか」、B(10)「先生は、熱意を持って授業に取り組んでいましたか」は2.0ポイントを切っており、皆様の教育方法へのご努力が反映されているものと思われます。特にB(1)とB(10)は1.8ポイントと高い評価となっております。皆様の授業への熱意が伝わっていることが伺えます。

また、平成21年度前期と比較しますと、B(2)「板書やOHC、パワーポイントの字や図の表現は適切でしたか」、B(5)「配布資料、教科書などの教科書は適切でしたか」は0.1ポイント評価が落ちておりますが、他の項目につきましては同様の結果となっております。

いずれにしましても、B項目の評価ポイントではB(7)以外の項目で2.0ポイント以下となっております。皆様のご努力が成果となって現れてきているものと思われます。

A項目につきましては、予習復習、意欲については若干積極性が見られますが、まだまだ改善の余地が大きいように思われ、今後への課題と思われま。

今回の結果をご参考にしていただき、今後ますますの授業改善に役立ていただければ幸いです。